

花見川いきいきプラザクリスマスイベント(見守り訓練)

概 要	会場内で参加者が認知症役の方に声掛けし、スタンプラリーを達成したら景品を渡す。	
目 的	今後も増加していくであろう認知症高齢者への声掛け体験を通じ、地域住民が地域全体で支え合うことの必要性を考えるきっかけとなることを目的とする。	
開催にあたっての経緯	花見川いきいきプラザで毎年 12 月に行われるクリスマスイベントで何か高齢者支援に関する活動を行いたいとの要望がイベント担当者よりあんしんケアセンターへ相談があり、あんしんケアセンターより認知症高齢者の啓発の一環として徘徊模擬訓練を提案・承諾を頂き開催に至る。	
実 行 メ ン バ ー	花見川いきいきプラザ(花見川社会福祉協議会)、株式会社シルバーとつづ(福祉用具事業所)あんしんケアセンターこてはし台、あんしんケアセンターさつきが丘	
実 施 場 所	花見川いきいきプラザ・こてはし温水プール内	
開 催 日 時	R4.12.17(土)10 時～12 時 (クリスマスイベントは終日開催)	
参 加 者 数	実人数 230 名(男性 108 名女性 122 名)	イベント延べ人数 1222 名

開催までの流れ		
R4.10.6	声掛け訓練(徘徊模擬訓練)班結成	第一回打合せ日程の調整
R4.10.19	いきいきプラザ声掛け訓練打合せ①	訓練の内容、イベントの形式、必用物品の確認
R4.10～11	イベント物品の各種問い合わせ	マスコットの手配、運営参加人数の調整、参加いただける事業への確認、必用物品の調達
R4.11.18	いきいきプラザ声掛け訓練打合せ②	認知症資料の展示場所の決定、訓練の流れ、スタンプラリー用しおりの内容確認、徘徊者及びマスコットの居場所の決定等
R4.11～12	各種資料の作成	当日参加者に渡すしおりおよびタイムスケジュールの作成
R4.12.7	いきいきプラザ声掛け訓練打合せ③	当日の流れの確認、緊急時の対応等の最終調整

必要物品及び入手先	
<p>いきいきプラザ準備品</p> <p>クリスマスチラシ：2500 枚 スタンプラリー用品：案内紙兼しおり・スタンプ 見守り訓練用ポスター：必要枚数 さくさくコーン(参加者全員)：セブンプレミアムより寄贈 人形・折り紙(点数に応じて)：いきいきプラザ利用者作成 のぼり：稲毛社会福祉協議会よりレンタル かそりーぬ：加曾利博物館よりレンタル ふうたくん：千葉市動物公園よりレンタル ハーティーちゃん：社会福祉協議会にて準備</p>	<p>あんしんケアセンター準備品</p> <p>展示資料：あんしんケアセンターのパンフレット(50 部) 介護保険・介護予防パンフレット(50 部) 認知症関連の資料(計 100 部) 認知症徘徊者用衣装：かつら、衣装、杖等 タイムスケジュール：参加人数分 参加者名簿：人数分 部屋の割り振り図：人数分</p> <p>シルバーとつづ</p> <p>見守り GPS(本体・PC) 車いす 福祉用具関連資料</p>

開催当日の流れ

9:00	2階教養娯楽室	集合・タイムスケジュールの確認
9:30	〃	着ぐるみの着用、衣装の準備
9:45	エントランス、図書談話コーナー、ゲートボール場	各自持ち場への移動、準備
10:00	〃	見守り訓練開始
12:00	2階教養娯楽室	見守り訓練終了、各自撤収
12:30	〃	反省会

開催風景



↑視力障害の設定で前からの声掛け



↑円背・難聴の設定で目を合わせて大きな声で



↑若年性認知症の設定で恰好を否定せずに優しく
GPS 装着済、参加者は受付 PC にて場所を確認



↑マスコットは必ず同伴者と2人で移動

課題・反省

- ・多くの方にご参加いただきましたが、マスコット見たさに集まり声掛け訓練に参加されない方も見られた。
- ・認知症役の配置場所によって声掛けに来ていただける方の人数にばらつきがあり、わかりやすい場所にするとよかった。また配置場所によってはプラザの通常利用の方にご迷惑をかけてしまう場面もみられた。
- ・スタンプラリーという形式をとったが、声掛けした時点で達成なのか、認知症の設定に応じて声掛け出来たら達成なのかと明確なゴールを設定できていなかった。
- ・終了間際にスタンプラリーを始めた方がおり、最終的に全部を回ることが出来ない方もいた。参加時間に制限を付けてもよかったのではないか。